

13 ごみ減量・再資源化の推進

7月からペットボトルを資源物分別回収品目として追加し、ごみ減量、リサイクルを一層進めていきます。また、資源回収団体に対しては、ペットボトルも奨励金の対象としていきます。

生ごみを堆肥化するコンポストの購入についても、助成をします。

14 可搬型海水淡水化装置の購入

災害に強いまちづくりを目指し、災害等非常時の飲料水を確保できるように、可搬型海水淡水化装置を1基購入します。

この装置により、1日5トンの飲料水を作ることができます。



15 雨水利用簡易貯留槽購入への助成

蒲郡市の上水道は、現在100%豊川用水に依存しており、毎年のように節水をお願いしています。

渴水に強いまちづくりのひとつとして、屋根に降った雨水を有効利用するために、雨水タンクを設置する人に対して、助成をします。

16 下水道事業の推進

汚水幹線・支線と雨水支線の築造に加え、水洗便所改造資金の利子を補助し、公共下水道の整備を進めていきます。

下水道浄化センターでは、自動除塵機とベルトコンベアを改築し、施設の整備を進めていきます。

なお、大塚地区については、豊川流域下水道事業として進めていきます。

17 (第2期)丸山住宅の建設

大塚町の市営丸山住宅の建設は、第1期10階建て60戸の工事に続き、第2期工事を進めています。

4階建て20戸の第2期工事では、お年寄りのために段差をなくしたり、スロープをつけたりした構造・設備のシルバーハウジング10戸を建設します。



18 学校施設の充実

井戸の設置や校庭の整備をはじめ、運動場の排水工事、既設プール改修など、市内の小中学校の施設を整備します。

また、とくに古くなった北部小学校体育館は大規模に改造します。

19 特別養護老人ホーム建設への支援

市内の社会福祉法人により、平成11年4月の開所を目指し、虚弱及びねたきり等のお年寄りの入浴や介護を行うデイサービス、ケアハウス、在宅介護支援センターを併設した特別養護老人ホームが建設されます。

市では高齢化社会に備え、ホーム建設を支援します。

20 在宅福祉サービスへの支援

昨年8月スタートした「ふれあい蒲郡」は、介護や家事援助などのサービスを有償で提供する会員制の相互扶助制度です。

協力は、点数預託し、将来本人または同居する親族等が、介護や援助を必要となった時に利用することもできます。

市では、この制度が独り立ちできるまで、引き続き支援を行っていきます。

21 障害者計画の策定

障害者を持っている人が地域社会の一員として、いきいきと暮らせるように、ガイドラインとなる障害者計画を策定します。

この計画をもとに、地域の障害者の実情に合わせた福祉を進めていきます。

